

ゆいのもり通信

2008 No.15

2008年9月1日発行
ゆいのもり編集委員会
昭島市田中町1-19-4
TEL042-545-5451

ゆいのもり将来像試案

「当事者及び家族（ケアをする人々）にとって最適な支援や活動を提供するために。

これからの ～ゆいのもり日中活動の総合福祉事業～ を考える」 嶋田敦子(食工房ゆいのもり職員)

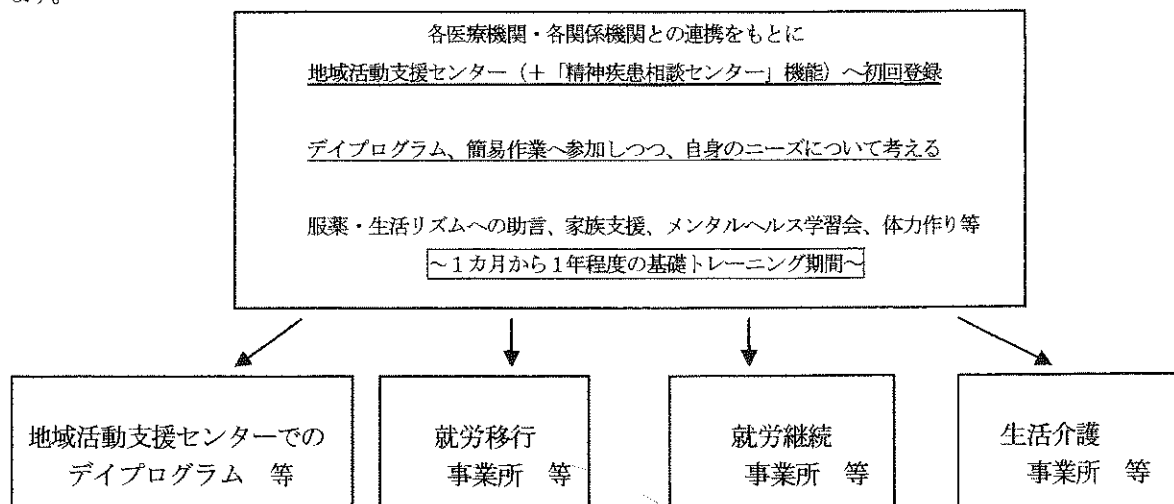
「ゆいのもり3施設」ではこの間、障害者自立支援法による今後の施設移行に関して理事会、事務局会、職員会などを通して議論を重ねてきました。「障害者自立支援法に移行してもこれまでと変わらない利用者サービスを。」という考えと併行して「出席率約60%の精神障害者の利用状況では施設経営が成立しない。利用者登録増員と授産事業の充実を。」などの意見が交わされてきました。具体的に各事業所等の施設配置はどのようにすることが適切であるか等については様々な意見があり、まだ今の所、名案はありません。

2008年度版の障害者白書で、全国で精神障害者数は302.8万人（人口1000人あたり24人）と記されています。昭島市の人口は112,877人(2008.7.1現在)ですから換算すると昭島市内の精神障害者数は約2709人ということになります。このうち実際の社会福祉サービスを利用している方の数を計算することはできませんが、ゆいのもり福祉協会の3カ所の施設の登録者合計は他市も含み120人程度ですから、通院はしているが、福祉サービスや各種制度の利用について情報が無い、もしくは利用できないという状況が考えられると思います。困惑した生活の中で適切な相談方法に出会えず悩みを抱えているケースが多くあるのではないかと推測する次第です。

障害者自立支援法の施設移行に関しては各施設単位での効率の良い福祉サービスの提供ということが主目的であると考えられますが、現在必要とされている精神保健福祉サービスはそのようなビジネスの視点だけでは実施不可能なものであると考えられます。これから「精神保健福祉サービス」を必要とする当事者と家族からみて、どのような視点でのサービスが大切なのでしょう。これまで行ってきた『ゆいのもり』でのサービス内容について検証する必要があるのではないかと私自身考えるようになりました。

精神障害の場合、発症から医療を継続的に必要とするケースが多く、福祉サービスの必要はライフサイクルに応じて内容や頻度が変わります。統合失調症は10代、20代、の発症が多く、初めて病気による変化に気づいた時からの相談先が必要であると考えます。精神疾患を早期に発見し介入するために、気軽に相談ができる「精神疾患相談センター」機能が必要であると思います。当事者およびその家族の抱える悩みに1つ1つ答えることができる安心の場づくりが、精神保健福祉サービスの原点なのではないかと考えるようになりました。精神障害が他の障害と比較して特徴的なのは「疾病と障害を併せ持つ」ことからくる「生活のしづらさ」であると考えられます。そのため、医療と福祉の双方向性のアプローチにより、障害対処能力を強め、リハビリを促す必要があります。

以上のような考えから最後に、地域活動支援センターに「精神疾患相談センター」機能をプラスした（私案）「ゆいのもり施設再編案」を提案させていただきます。若年の精神疾患の疑いについての相談などから中高年齢層まで、ご本人のライフサイクルを考え、気力体力にあわせたサービスプログラムが必要と考えられます。「ゆいのもりに登録して良かった！」といただければ『日中活動の総合福祉事業』として各種プログラムを整備した上で、利用者の身丈に合った最適な支援サービスが提供されることを私は心から願っています。



夏休み子どもパン教室開催！

7月26日に食工房1階工房にて、夏休み子どもパン教室を開催しました。独立したイベントとして行なうのは今年で3回目ですが、申し込みが殺到し急遽回数を増やして行ない親子あわせて100人ほどの参加となりました。今回は、ねこどうさぎのパンを作ってもらい、子どもたちはそれぞれ生地をのぼしたり目鼻となるドライフルーツをつけたり熱心に取り組んでいました。そして焼きあがった自分の作品に満足そうな笑顔が印象的でした。年に1度の開催がやっとですが、施設開放行事として食工房を知っていただくいい機会にもなっています。



ボランティアさんと新しいパートさん紹介

先日より、ボランティアとして活躍していただいている、島崎さんに、ゆいのもりでボランティアをしている感想を書いていただきました。島崎さんは、うつ病当事者であり、長い間病状で苦しんでいた中、ご家族の勧めで介護予防教室に通われ、その後自ら昭島市精神保健ボランティア養成講座を受講された後に、食工房ゆいのもりのボランティアとして活躍されている経歴をお持ちです。

「何もしたくない。眠れない。震えて字も書けない。ひきこもりで歩けない。頭の中はくもの巣だらけ。長い暗いトンネルの中にいました。入院したいと思っていました。そんななか、家族に連れて行かれた所は介護予防教室でした。毎回つらかったのですが、「人と接し体を動かす」うちに変化が……。そして今、微力ながらパンの袋詰めの手伝い出来るなんて最高です。工房の方々はみな善い人ばかり。心のこもった手作りのパンが焼きあがるのは当然です。多くの人のお陰でトンネルを脱出できました。」 (島崎)



ローズカフェ、テレビで紹介される！

5月23日にお昼の情報番組「おもいっきり！！いいテレビ」にて食工房が天然酵母パンを卸している「イングリッシュガーデンローズカフェ」が紹介されました。ローズカフェではランチのセットに食工房のパンをつけていて、バラの季節（5～6月ごろ）には朝から行列のできる人気店です。その放送のなかで食工房のパンを食べるシーンもありました。（ちょっとですが・・・）お近くに行った際にはぜひお立ち寄りください。

イングリッシュガーデンローズカフェ (定休日 木曜日)
 (住所) 国分寺市南町2-3-23 TEL 042-304-2887

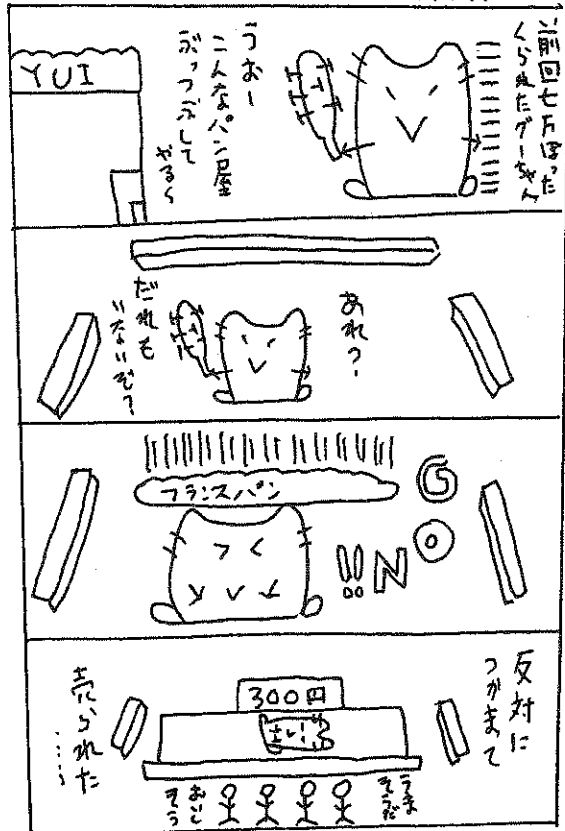
メンバー自己紹介

生まれたときから、情緒不安定で、他人との距離が分らず、人と話しが出来ず、不幸な青春を過ごす。しかし、根性だけは有り、大学を卒業する。大学時代にデイケアに入り、人間性の勉強をする。今は、作業所から、授産施設（食工房ゆいのもり）に入り、就職を目指している。漫画家になる?!という、変な願望が有る。

林朋篤、31歳、経済学士



GO!GO!グチャム@哀しきマリ格ノ 作ハペー



作業所・授産施設でみごと！「マナー」や「人間性」～ハローワークに行く前に

障害者自立支援法の大きな柱にもなっている就労支援。

そこで今回は、作業所などを利用中の3人が、一般就労をしている1人に対して悩んでいること・迷っていることなどを質問し、アドバイスをもらうという設定で、精神障がい者就労のポイントについてお話してみます。

作業所通所歴5年Aさん37歳♂ 社会的でリーダー格。ただ、「この工賃じゃ働く気がしないなあ」と最近はや欲も薄れ、欠勤しがちに。発病前に企業で正社員としてバリバリ働いていた経験あり。



授産施設通所歴半年Bさん24歳♂

作業はスピーディーで飲み込みが早い。作業が終わるとすぐに帰宅し自分の時間を楽しめる。ただ、就労経験がほとんどなく、病歴も浅い。



作業所通所歴3年Cさん♀47歳

不器用でスローだが、作業は堅実。あいさつと、「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」だけは心がけてやっている。無遅刻無欠勤を続けている。



一般就労を3年継続しているDさん32歳♀ 作業所を4年かけて卒業し、現在も相談利用している。



あいさつとピジ初マナーは基本中の基本

- A「オレの経験から言えば、企業はマナーと動ける人しか求めない。Cさんはむずかしいんじゃないか」
 D「企業が最も求めていることは、あいさつをする、無断欠勤をしない、ピジ初マナーを身につける…などの基本的なことです。精神障がい者の症状には“波”がありますが、たとえ“波”があることを理解してもらっても、この基本だけは企業はなかなか譲歩してくれないです。仕事ができるできないは、あまり気にしなくていいみたいです。企業は、障がい者雇用なら“仕事は入ってから教えればいい”というスタンスです」
 A「なるほど。じゃあ、作業所のスタッフもCさんの“当たり前”にできていることをちゃんと口に出してほめてあげないといけないよね。自信をつけてあげなきゃ」

わかりにくい病気だからこそ 隠さず「オープン」に

- C「私は職場の人間関係が原因で発病したので、あらかじめ就労先には自分の苦手なことや注意して観察してほしいことなどを「オープン」にしておこうと思ってます」
 D「精神疾患というのはたいへんな生きづらさを抱えているにもかかわらず、人にはそれを理解してもらいにくい病気です。だからこそ口で伝えておかないと、“あいまいな指示をしないでください”“残業はできません”“被害妄想だと感じられることがあったらよく話を聞いて落ち着かせてほしい”など、配慮してほしいことは前もってお伝えしておけば、余計な心配をしないで仕事に集中できます。隠していることをバツグンしながら働くのって、たいへんな苦痛ですから」
 C「加ズだとお昼の薬が飲みにくいとも聞きました」
 A「加ズだとすぐ“上司が最悪だった”とか“仕事内容が思ってたのとちがってた”とかいって、人のせいにして辞めちゃう人がいるけど、ほんとは病気が理解されているかいないかが勝負の分かれ目だったのかもね」
 D「支援者が一緒に寄り添って、時間をかけて企業に押し込んでくれさえすれば、けっこう病気を理解してもらえるものだとは思っていますよ」
 A「Bは即戦力だよ。仕事もできるし、何より若いからね」
 B「でも病歴が浅いので、入社にあまり慣れていないので、ちゃんと対処できるかどうか不安です」
 D「それなら、委託訓練やトライアル雇用などの制度をうまくつ

かって、実際に企業のなかで働いてみたらどうか？ うまくいけばそのまま雇用されることだってあります」
 C「Aさんには経験や自信があつてうらやましいです」
 D「たしかにね。でも“少ない工賃じゃ働く気がしない。企業に行けばちゃんと働ける”とか“昔働いていたから今も働ける”というのは、就労支援関係者がいちばん嫌いな言葉かも。どんな地味な仕事でも文句を言わずにやり遂げられるような、従順で誠実で辛抱強い人を企業は好みます」

避けて通れぬ「人づき合い」

- B「僕は休憩時間の過ごし方がわからないんです」
 D「“作業が終わるとすぐに帰宅し、自分の時間を楽しめる”って、裏を返せば人とのかかわりあいを避けているということですよ。職場には休憩時間はもちろん、閑散期もあります。こういった時間については見逃されがちですが、ここをうまくやりすごせないと就労を続けていくのは赤信号です。ですから作業所の仲間とゆっくりお茶でも飲みながらおしゃべりできるようになっておくこともすごく重要な働くためのスキルです」

一人で走らない 伴走者とともに

- A「ところで、就職したらお金は稼げるけど、それと引き換えに一人ぼっちになっちゃう気がするんだよね」
 D「就労がうまくいっている人は、支援機関をうまく使っている人でもあります。話を聞いてくれる支援者や精神障がい者であることを安心してオープンにできる交流の場を確保すること、仕事のない日には作業所のゆなどに参加してストレスを発散させることなどがとても大事になってきます。一人ぼっちになっちゃうダメです」
 C「就労は再発のきっかけになりやすい大きなバツ外であることを肝に銘じておかないといけませんね。だから、できるだけ味方もいっぱいいたほうがいいですよ」
 D「精神障がい者もようやく障害者雇用率に算定されるようになりました。また、非定型抗精神病薬(新薬)の出現により、以前より軽快な動きをする人が増えてきました。平成15年までの数字では、雇用されている全障がい者のうち精神障がい者はたったの3%弱にすぎませんでしたが、その頃よりはるかに追いついてきています」
 A「ズバリ、この3人のなかで就職できそうな人は？」

D「全員です。自分に足りないものを身につけ、身につけていることはいっぱい褒めてもらいましょう。それを繰り返していけば、みなさん就労できますよ！ “常識”とか“当たり前”のことができるかどうか、作業所などに通って周りの人の動きを見たり、スタッフに指摘されたりしないと、なかなか一人じゃ気づけないものです。人に何か言われるのってバツグンな嫌いなことばかりで、できていないことがわかるのって屈辱だったりしますので、できれば向き合いたくないものです。でも、それぐらい耐えられなきゃ、仕事に就くところではないはず。作業所や授産施設を知らなければハローワークは気軽に足を踏まべるところでしたが、作業所や授産施設を知ったらハローワークに行くまでにどれだけ準備が必要かわかりましたよ」

ゆいのもり社 メンバー投稿 '08

「私の現況」

K.M

私は今年の4月から東京障害者職業能力開発校で、主にパソコンの勉強をしています。ゆいのもり社に通い始めて、すでに15年くらい経ちます。前の所長さんだった浅川さんに、パソコンを少し教わった時は全く頭に入りませんでした。今ではワード3級と表計算3級の資格を持っています。ただ、これだけで就職するのは難しいです。すでに何社か面接をし、不採用になっています。しかし、良い機会ですので、余り高望みせず何とか就職を果たしたいと就職活動中です。一般事務の障害者枠での就職を狙っています。

後、どれだけ面接を受ければ就職できるのかは、全く分かりませんが、頑張ってみたいと思います。事務だけの仕事でやっていけるとは思いませんので、軽作業もあのかなと考えています。ゆいのもり社から巣立っていった人達も沢山いるので、その流れに乗ってみたいです。今は少し希望をもって生活できていると思います。

「希望」

荒井伸一郎

去年の六月頃から週1日だけピップの仕事をしています。仕事の内容は商品の入っていたダンボールを平たくたたんで片付けるというものです。あまり神経を使わないですみ、体力勝負の仕事です。ピップの仕事とともに作業所の室内作業も続けました。いろいろありましたが、作業所の職員の方たちや同僚の方に悩み事などを聞いてもらったりしながら、なんとか続けられるようになりました。

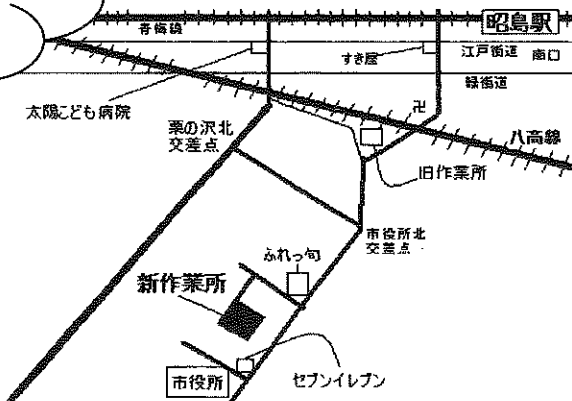
それから一年位たった時、私の病状の方もだいぶ良くなったので薬を軽くしたら眠れなくなったり、病気の症状がでたりしてダンボールの仕事も何回か休むようになってしまいました。ローテーションにも穴をあけ職員さんにも迷惑をおかけしました。その後、主治医に薬の調節をしてもらいましたが、あまり良くなりませんでした。体調の良い時には新たに作業所の清掃の仕事を行い、清掃の技術を身に付けて社会復帰をしたいと思っていたのですが、その目標にも一歩後退の状況です。

今はゆっくり暮らしていき、またダンボールの仕事を始めたいと考えています。社会復帰して母親が三度三度の食事のしたくをしなくて済むようにしていきたいと望んでいます。

ゆいのもり社が移転しました



1階がザ・サード
ゆいのもり
2階がゆいのもり社



ゆいのもり社	昭島市田中町1-19-4 (2F)	TEL 042-545-5451
ザ・サードゆいのもり	昭島市田中町1-19-4 (1F)	TEL 042-542-6776

成年後見制度



ゆいのもり社のメンバーの平均年齢は、50代。ひとり暮らしのかたが約半数ですが、半数は、ご家族と同居しています。「親亡き後… 財産をどう管理して生きていったらいいかわからない。悪徳商法にだまされたらどうしよう!」「ひとりっこだし、親戚といっても遠く、頼れる人もいないし、困った。」こんな悩みをもつメンバーがいます。また「自分が亡き後、いろいろな行政手続きや契約、日常の金銭管理など、この子（もう大人だが）はひとりでできないだろうし、今のうちから将来困らないように準備しておくことはできないだろうか」と不安に感じているご家族の声もききます。

そこで今回、成年後見制度について簡単にご説明したいと思います。

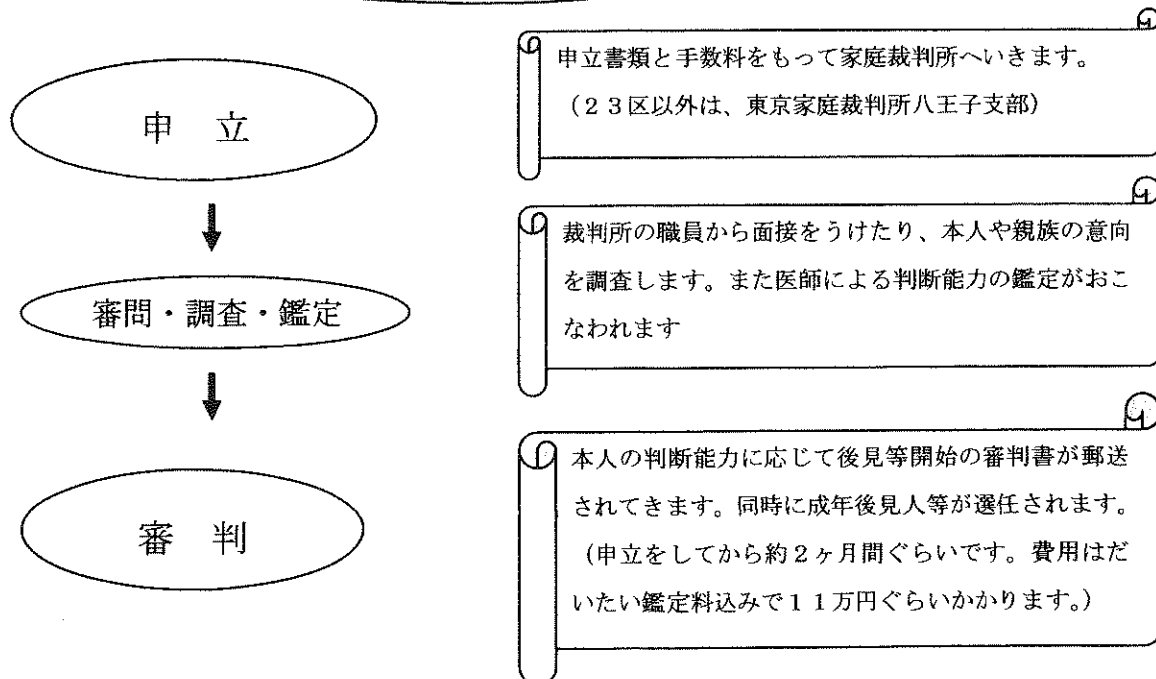
成年後見制度ってどんな制度でしょう？

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の十分ではないかたについて、ご本人にかわって物事を判断し、さまざまな契約を行い、財産や権利を守る援助者を選ぶことによって、ご本人を法的に支援する制度です。平成12年よりスタートしました。

成年後見人等には、どのような人が選ばれるのでしょうか？

ご本人のためにどのような保護・支援が必要かなどの事情に応じて、家庭裁判所が選任することになります。ご本人の親族以外にも、法律・福祉の専門家など第三者が選ばれることもあります。

具体的申し立ての手続きはどうすればいいのでしょうか？



困ったときの相談先は… (まずは、身近な施設の職員に相談してみてください!)

昭島市役所 福祉推進課 福祉推進係

TEL042-544-5111

東京家庭裁判所 八王子支部 (申立手続・書類)

TEL042-642-5195

働くためにはまず体力!

サードは今ちょっとした就労ブーム。そこで一般就労して6年になる1人と、就労を目指して動き始めた4人のメンバーに、ここに至るまでの経過と、今の気持ちを率直に語っていただきました。5人の意見に共通するのは、働くためにはまず体力がいるってこと、そして朝きちんと起きる習慣が大事。なるほど!

●**英美** サードには10年以上通っていますが、親から言われて入所5年目にオープンで就職しました。最初はチョコレート工場で半年働きましたが、バレンタイン時期を過ぎたら暇になってやめることに。それで作業所に再び通い始めて、職員さんから薦められて生活支援センターが募集した「グループ就労」に応募して5か月働きました。その後、支援センターのジョブコーチの人と職安に行って一般就労を探しました。老人ホームの厨房の仕事があり、3か月のトライアル雇用を経て正式採用になって、今も働いています。

●**直子** どういうお仕事なんですか?

●**英美** 調理師さん、栄養士さん、それに私のようなパートさんたちで約100人分の食事を作ります。私の担当は、おかずの盛り付けや配膳、材料の仕込み、洗い物などです。

●**昭子** 今みたいに自立支援法もない時代だから、就職活動も大変だったんじゃないですか?

●**英美** オープンで就職したので、職場の人が障害に対して理解があって、もう働き始めて6年になります。

短時間から始めて

余裕をもった働き方が長続きのコツ

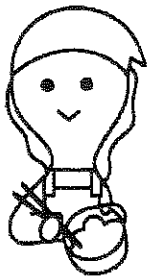
●**みぶ菜** どういう配慮をしてもらってるの?

●**英美** 失敗しても強く叱らないことやトイレが近いのも配慮してもらったし、具合が悪くなったら帰っていいよと言われていました。

●**昭子** 長く続けられるポイントは?

●**英美** 厨房作業はけっこうきついけれど、短時間労働でぎゅうぎゅうに働かなくてよかったことかな。最初は月15日から始めて今は月17日出勤、時給800円で月に6~7万円もらっています。

●**高二** いやあ英美ちゃん、輝いて見えますね。僕は、社会適応訓練を1年半やりました。訓練費として会社から1日1,100円いただいていた。機械の部品会社で、僕の担当は梱包。スキルが上がって仕事も任せられ始めて、このまま就職かなというときに、会社が親会社に吸収合併してやめることに。翌月から就職活動を始めましたが、薬の副作用がひどくてしゃべることが出来ず、結局うまくいかなくて調子を崩しました。その後もサードに通いながら、ちょく



ちょくハローワークの情報をネットでチェックしていたのですが、先月またまいい職場が見つかり、働きに行ってみました。でも2週間ですぶれましたね。時給740円で週3日でしたが、腰痛は出るし、体がもたなかったです。1日目で体重が2キロ落ちてびっくりしました。

●**直子** 私は10年ほど前のある日突然動けなくなり、家事もできないほどで困ってしまいました。家にこもりきりでテレビも本も読む気になれず、横になっている状態がずっと続き、去年入院しました。だんだん体の調子もよくなって、サードに通所するようになりました。まだ3時間くらいしか働けないけれど、いずれは外で働きたいと思っています。

やる気さえあればいつだって働ける そう思っていたけれど...

●**みぶ菜** 私は30歳位から引きこもり経験があって、いろいろな支援機関を経て作業所に辿り着きました。働かなければいけないと思っていたけど、自分に甘えがあって踏み出せなかったんです。引きこもりの人が行ける作業所があると知って、少し動いてみようかな、と通い始めました。

サードに来て1年半で気づいたことは、まず体力がなかったこと。2番目は家に居きりで、話す相手はほとんど親だけ。人間関係に慣れていなかったことですね。サードで働き始めた最初の頃は、今日あったことを家に帰って考えてしまって、いっぱいいっぱいでした。やる気さえあれば働けると思っていたけれど、実は働く前に、人とのやり取りに慣れることが大切なんだ、とわかりました。

●**高二** 自分を自分でガードするのも、時には必要だけどね。

●**英美** みぶ菜さんは、20代の頃は働いていたの?

●**みぶ菜** 働いてましたよ。いろんな仕事をいっぱいして、いっぱいやめてました。だから自分ではアルバイトだって出来る、と思っていたけど、働こうという行動には自分からは踏み出せなくて。働くまでの途中段階のところ欲しかったですね。実はもう30代で体力も年齢も微妙。20代の頃のように戻れないと思っていました。でもサードに通って、働けるぐらいの体力がついてきた。人との付き合いも、あんまり考え込まずに済むようになってきた。働くことが近くなってるなって感じています。

年中活動	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月
園芸部 (フラワーアレンジメント、園芸活動)	作って食べよう シネマクラブ 手しごとクラブ (毛系の帽子作り他)	大掃除 奥多摩キャンパス	ケイキバイキング	ケイキバイキング	園芸部 フラワーアレンジメント	いちご狩りで山梨へ 職員白川裕史さん退席 イオンモールツアード	新年会 (サードでパーティ) 新作業所お披露目会 パティシエクラブ バレンタインチョコ作り 映画鑑賞会「日本の青空」 (昭島市民会館)
	1人暮らしの料理教室ではじめて作った生揚げ、ウマイ!	ケイキバイキング	ケイキバイキング	ケイキバイキング	お花見、雨天のためカラオケに変更 花祭り企画サード特製桜餅と抹茶を楽しむ G・W雪のほほん企画雨天のため湯楽の里に変更	新しい作業所で新年会、手しごとクラブからのプレゼントの帽子はいかが?	
		音楽時間 カラオケクラブ シネマクラブ「フラガール」上映	健康診断 & お食事ツアー (計3回) スポーツ グループモモと合同 初夏一泊旅行 河口湖 らっきょう漬け・梅シロップ漬け作り	木下大サーカス観覧 フラワーアレンジメント、毎回参加で競も上達! 木下大サーカス、トラやライオンの演技にびっくり	新職員神保房江さん、池嶋和子さん入職 シネマクラブ「ニワトリはほだした」上映 お花見、雨天のためカラオケに変更		



高二さん 葵葵さん 直子さん 昭子さん みぶ菜さん



そのやり方を受け入れる 仲間と仲良くする

●**昭子** 私は夫を亡くして子どもがいるので、生活の中の一
番のネックは金銭的なこと。就労しなければという気持ち
があります。以前に就労を目指して動いた時は、すんなり
ハローワークまでいったらハイになってしまっていて、調子を
崩して2か月入院して、就労を断念した経験があります。
それで生活を立て直さなければ、とサードに来ました。朝
起きる習慣がついたことは良かったですね。

前は気持ちの揺れ動きがすごくて、泣いたり、考え込ん
だり、怒ったり、何でも出来ると思い込んだり。それを職
員さんに聞いてもらって感情を抑えられるようになり、主
治医もハローワークへ出す意見書を書いてくれるまでにな
りました。サードはもう全面的に活用させていただいてい
ます。自分のやり方に固執せず、そのやり方を受け入れ
ること、仲間と仲良くすることもサードで教えられました。

●**直子** 実は私も今、市の就労相談員さんに紹介してもらい、
立川のワークプラザに週1回通っています。それで先月、
仕事に就いて10日ほど働きました。でも1日1時間と短時
間だったのと、仕事のテンポが合わなくてやめました。でも
朝8時半から10時の仕事だったので、朝きちんと起きて、
通勤したことはよかったなと思っています。私は「喫茶森」
みたいに落ち着ける場所で働きたいなと思います。

●**高二** 僕が社会適応訓練を受けたときはあせって、ほ
とんど飛び込みのような形で、自分で勝手に考えて行動し
ちゃいました。僕はいつもあせってますね、エンドレスで
す。そのパターンは変えたいです。そこを変えていかない
と苦しいかな、とは思っています。

●**みぶ菜** 私は作業所の他に「若者サポートセンター」という
ニートや引きこもり経験のある人、対人関係で緊張やスト
レスのある人のための支援機関を利用しています。最近、

障害者職業センターで適正検査や職業興味検査を受けて、
いよいよ本格的に就職活動に乗り出そうというところです。

働きたい気持ちは自然な欲求

●**高二** ところでみなさん、働くってどんなイメ
ージですか？ なぜ働こうと思ったのですか？

●**昭子** 20代の頃の仕事で働く楽しさを覚えたか
らです。精神障害者は今まで働いて部分では
スポイルされていたと思うんです。だから障害
者自立支援法ができて、自分が障害を持って
いてもそれがネックにならないで働けるよ
うになればいいと思うし、障害も個性として認めて
もらいたいですね。

●**直子** 昭子さんと同じで、働くってことは人の
道だし、人の義務でもあると思うから。働いて
収入を得たいということが、働きたい理由です。

●**葵葵** 私は別に仕事は好きじゃないけど、や
っぱり働かないと生活できないというのが現実の
問題。仕事って楽しいばかりじゃないけど、
生活のため。働くイコール自立って感じですよ。

●**高二** 僕も、働くってことは単純にお金を稼ぐってことだ
と思う。逆に言うと、僕にとっては働かないでいること
のほうがつらいですね。働きたいという気持ちは、自分の中
に四六時中ある自然な欲求です。生活保護を受けているの
でそこから抜け出たい一心でしたが、今の状態では働けば
働くほど苦しくなるのはわかっています。今回のことで、
失敗したときに帰るところ（作業所）があっただけによ
かったと思っています。体調を整えてもう一度出直します。

●**みぶ菜** 私は、今は自分のペースで働き始めたいと思っ
ています。働いたほうが自分でも後ろめたくないし。働くイ
コール気持ちいい、とみんな言っていたけど、私も一生懸
命やることが気持ちがいいから働きたいのかな。働ける状
況をもっているんだから、働かなければと思っています。

●**昭子** でも中にはいろんな事情で、働きたくても働けない
人も居ると思う。そういう人のことも忘れちゃいけないで
すよね。



08年1月	12月	11月	10月	07年9月	ザ・サードゆいのもり
<p>新しい作業所に移転。キ レイで広くて、満足！</p> <p>作業所移転</p> <p>ガレイシセル</p> <p>クリスマスのお 菓子作り、あこ がれのブッシュ ドノエルに挑 戦！</p> <p>パソコン講座で年賀状 をつくってみました。</p>	<p>湯葉の里ツアー</p> <p>大掃除</p> <p>冬の一日旅行、声ノ牧温泉</p> <p>パソコン講座年賀状作り</p> <p>パティシエクラブクリスマスのお菓子</p>	<p>園芸部 寄せ球根植え付け</p> <p>グルメツアーしやぶしやぶ食べ放題</p> <p>ケーキバイキング</p> <p>パソコン講座年賀状作り</p>	<p>障害者自立支援法全国大フォーラムに参加</p> <p>カラオケクラブ活動開始</p> <p>パティシエクラブ秋のデザート作り</p> <p>障害者自立支援法全国大フォーラムに参加</p>	<p>音楽バンド練習（計5回）</p> <p>ぶどう狩り（山梨へ）</p> <p>バレエホール大会</p> <p>女子ミーティング</p> <p>活動報告会、市役所ホールに歌声がひびいた</p>	<p>ザ・サードゆいのもり</p> <p>喫茶森2の1年</p>

切手・はがき販売開始 今年の年賀状は喫茶森で！



4月から、昭島市役所1階、喫茶森の一角で、
切手・はがき・印紙類を販売しています。ご用
命は、喫茶森またはザ・サードゆいのもりへど
うぞ。お電話、メール、ファックスでのご注文
にも応じています。今年の年賀はがきは、ぜひ
喫茶森でご購入ください。年賀はがきのご注
文は、10月から受けつけます。
TEL・FAX 042-542-6776

今回はいつもお世話になっている昭島市保健福祉部生活福祉課の保健師さんに昭島市における精神保健福祉相談業務について紹介していただきます。

昭島市保健福祉部生活福祉課

平成 14 年 4 月より市役所生活福祉課にも保健師が配属され、精神保健福祉相談業務をしています。平成 20 年 4 月現在では常勤保健師：1 名、非常勤保健師：3 名で相談業務を行っています。「今日も昼まで寝てしまった・・・」「日中どう過ごしたらいいかわからない」等、生活の仕方に困った時は、デイケアや作業所等紹介し、ご希望があれば一緒に見学に行ったりします。なかなか市役所まで来られない時は、電話や訪問で相談もします。お気軽にご相談ください。

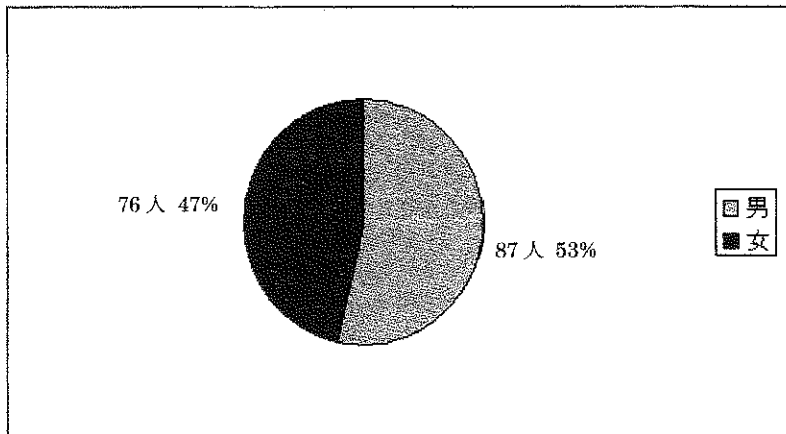
【相談内容】

- | | |
|---------|--------------------------|
| 生活相談 | ・生活の仕方（日中の過ごし方、掃除、炊事等） |
| 医療継続の相談 | ・対人関係のもち方（家族・友人との付き合い方等） |
| 福祉相談 | ・定期的受診、服薬継続の大切さ |
| | ・障害福祉サービスに関する相談 |
| | 等 |

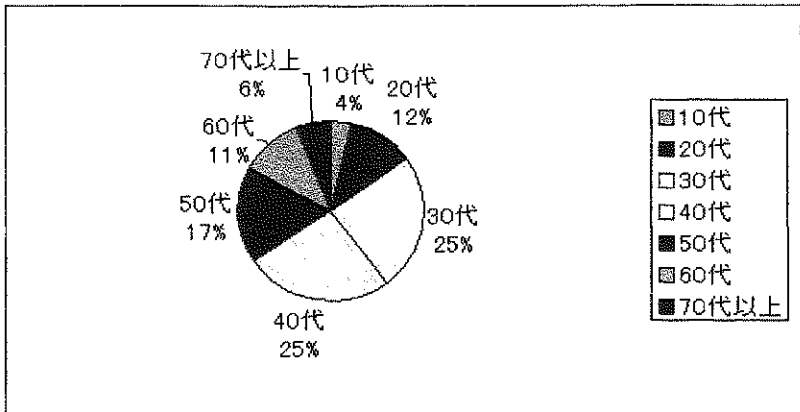
【相談の件数】（平成 19 年度実績）

相談実人数 163 名 相談延件数 1906 件

男女比	
男性	87 名
女性	76 名



年齢	
10 代	6 名
20 代	19 名
30 代	40 名
40 代	42 名
50 代	28 名
60 代	18 名
70 代以上	10 名



<編集後記> 今年のゆいのもり通信は文字が多く、読み応えがあったのではないのでしょうか？
 就労に関するメンバーの体験による記事が参考になれば幸いです。 (田)